

Jミルクが2021年7月30日に公表した「需給見通し(※2021年6月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。  
 「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

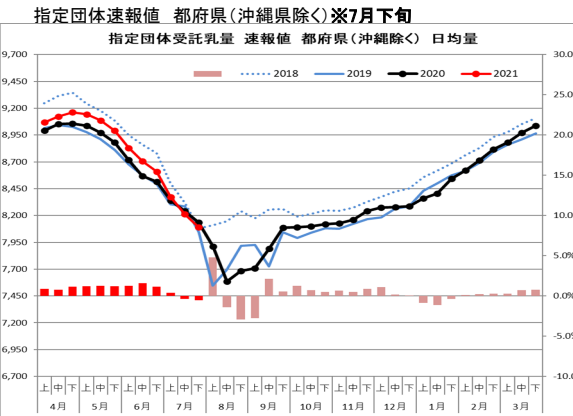
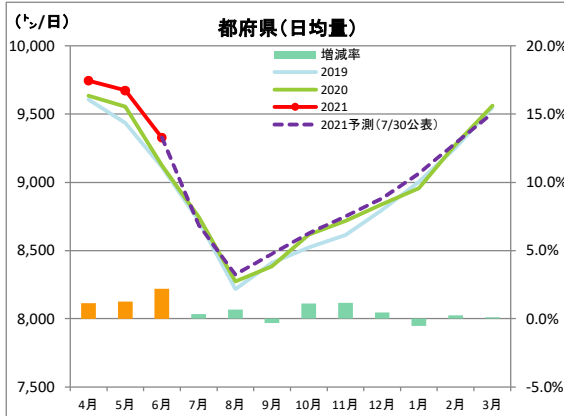
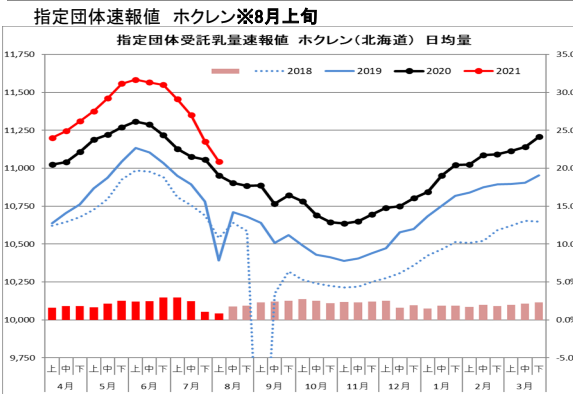
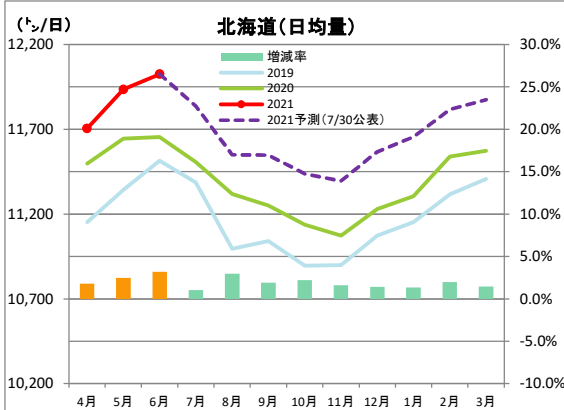
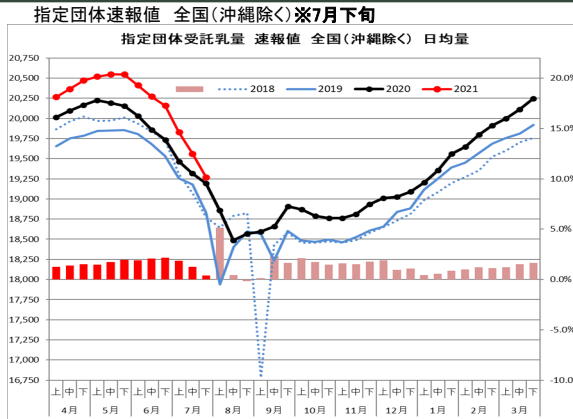
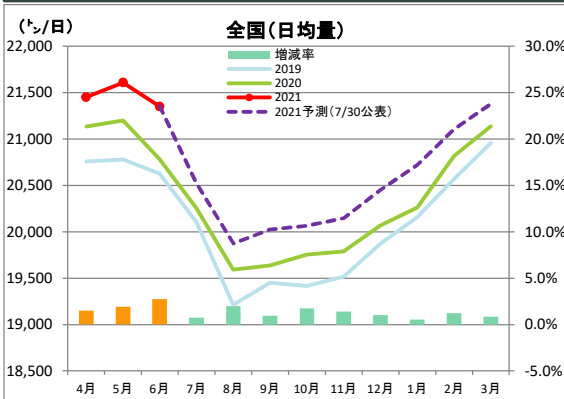
《家庭内消費のさらなる拡大が重要～直近の飲用需要は低調に推移～》

- ・6月の需給実績について、生乳生産は北海道・都府県ともに好調に推移したが、飲用需要については、前年を若干下回った。なお、脱脂粉乳・バターの出回り量は前年を上回っているものの、在庫量は引き続き高水準で推移している。
- ・7月の牛乳販売動向(インテージSRI+実績：前年比99.8%、Jミルク予測：前年比96.3%)については、統計が高めに出ることを勘案すると、予測から上振れして推移している可能性もある。
- ・直近の動向について、生乳生産は猛暑の影響によって7月下旬より全国的に伸び率が大きく縮小しているものの、直近は台風や大雨が発生した他、気温が平年を下回って推移しており、今後の影響を注視する必要がある。また、8/9週の牛乳類の消費については、前週(8/2週)から販売個数が減少しており、全国的な悪天候や気温の低下が影響しているものと推察される。また、ヨーグルト類については、前週より減少して推移している一方、家庭用バターについては前週から大きく増加した。
- ・なお、全国的に感染が急拡大している中、「緊急事態宣言」の発令地域の拡大や延長が決定したことから、引き続き業務用需要は厳しい状況が続くものと考えられる。業界としては引き続き家庭用を中心に需要拡大に積極的に取り組んでゆくとともに、学乳が再開となる9月の最需期の安定供給に向けた準備が重要となる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

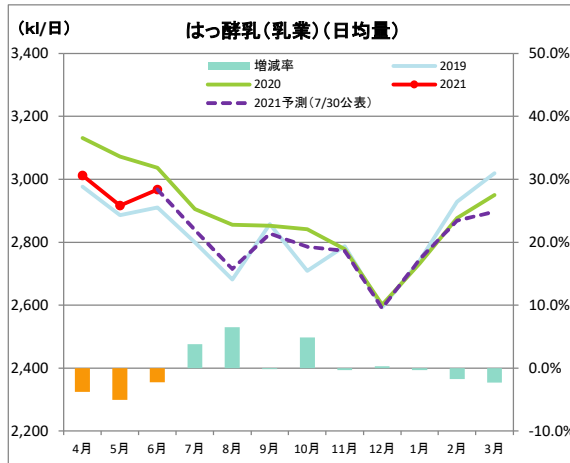
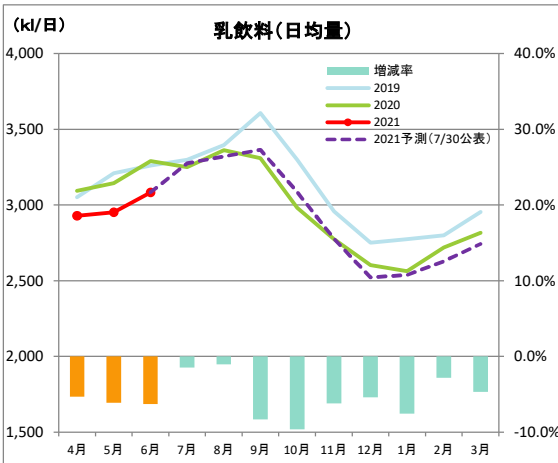
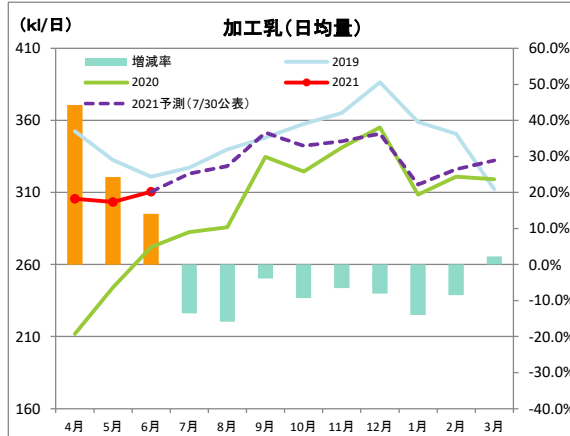
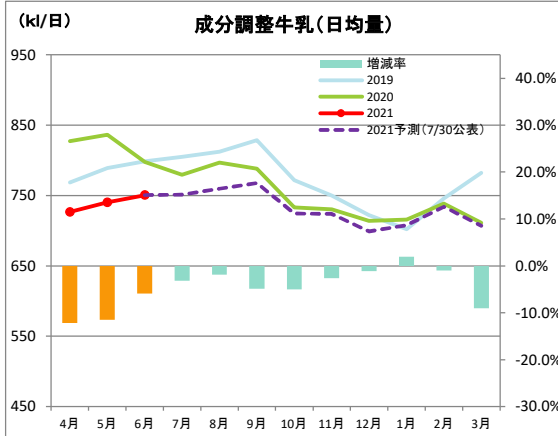
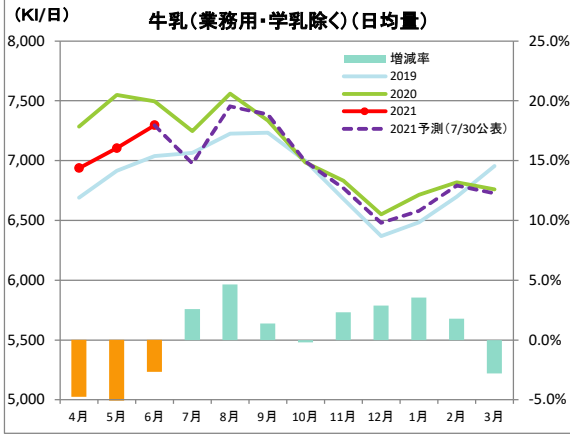
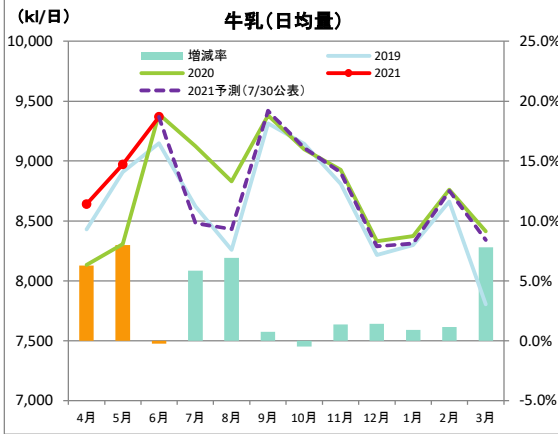
(1)6月の生乳生産量は、全国641千トﾝ(前年同月比102.8%)、北海道361千トﾝ(同103.2%)、都府県280千トﾝ(同102.2%)。

(2)直近の指定団体速報値によると、全国が同100.4%(7月下旬)、北海道が同100.8%(8月上旬)、都府県(沖縄除く)が同99.5%(7月下旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 6月の牛乳等生産量は、牛乳281千kl(前年同月比99.8%)、成分調整牛乳23千kl(同94.1%)、加工乳9千kl(同114.1%)、乳飲料92千kl(同93.7%)となり、牛乳類合計では405千kl(同98.3%)となった。
- (2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同97.3%と前年を下回ったが、「業務用」は同102.2%と前年を上回った。
- (3) はっ酵乳(乳業)は89千kl(同97.7%)と前年を下回って推移している。  
また、非乳業実績(5月)については、同102.0%と前年を上回って推移している。

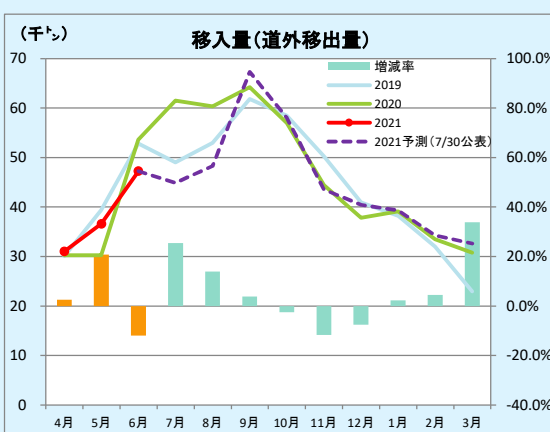
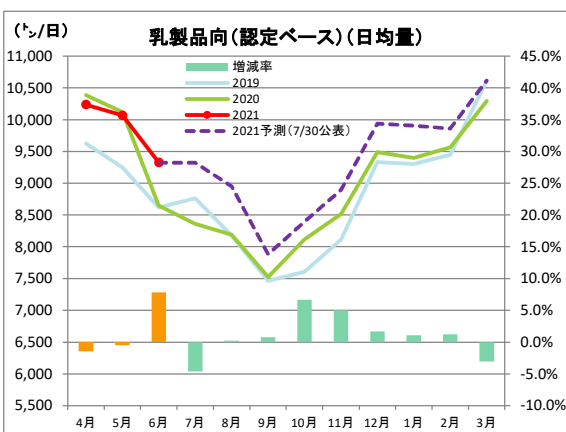
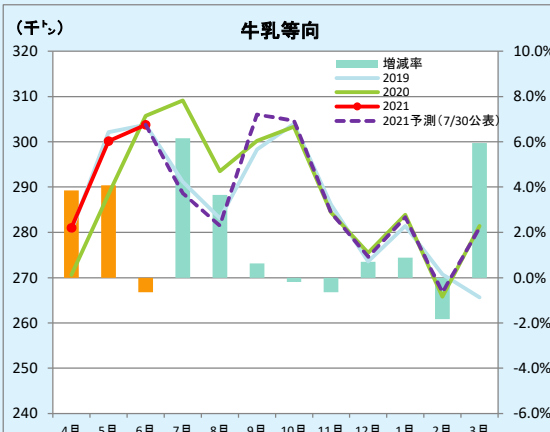
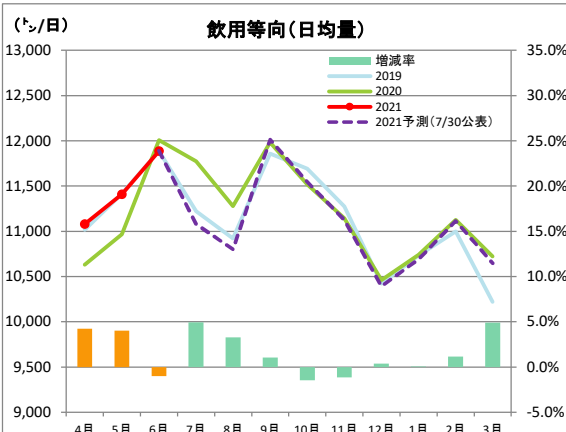
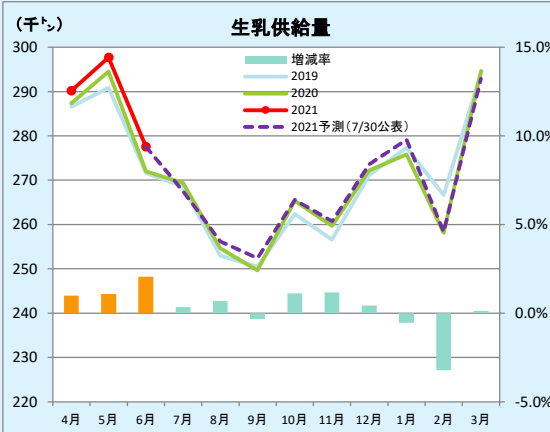
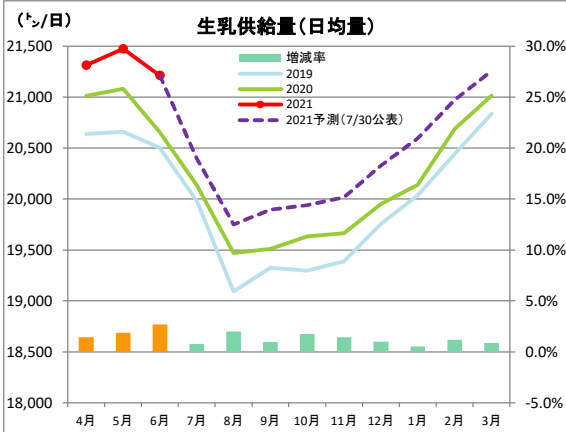


【用途別処理量】※増減率は、日均量で算出。

(1)6月の生乳供給量は636千トン(前年同月比102.7%)、飲用等向357千トン(同99.0%)、乳製品向(認定ベース)280千トン(同107.8%)。  
 (2)生乳生産が前年を上回る中、飲用等向は前年を下回っていることから、乳製品向処理量は前年を大きく上回った。

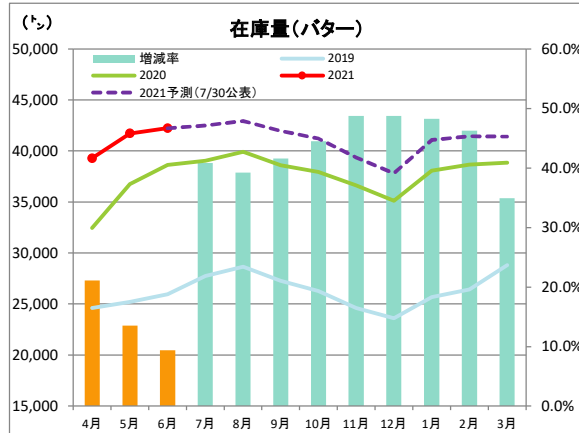
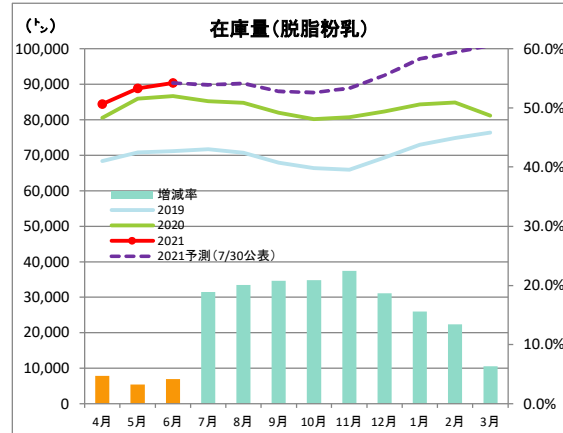
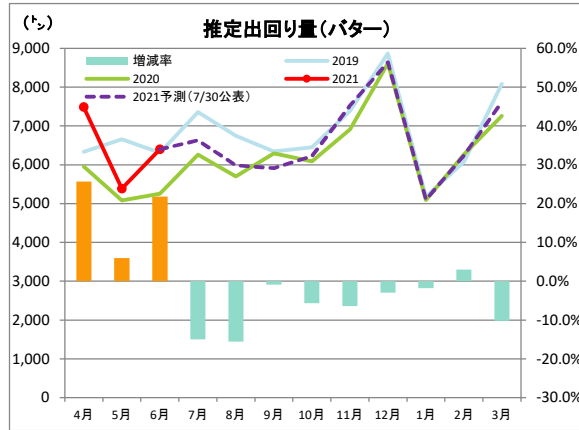
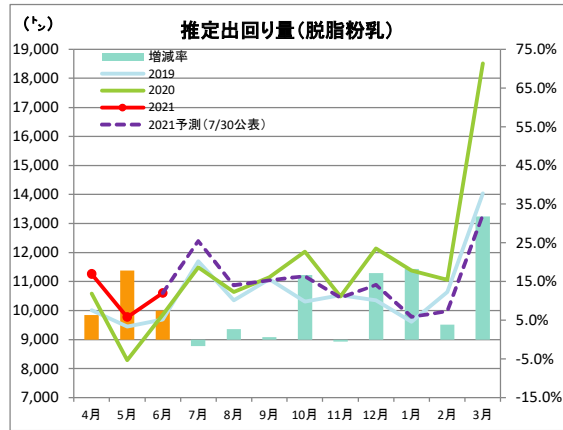
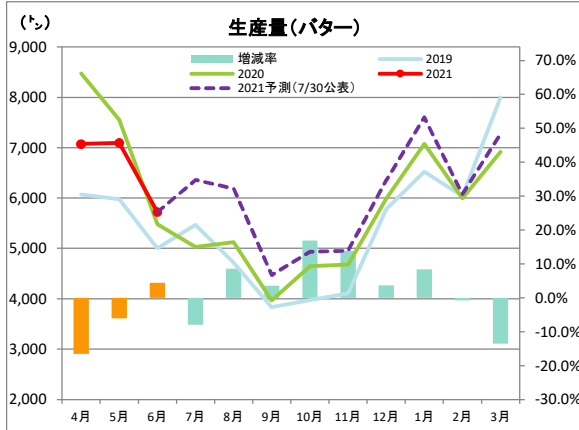
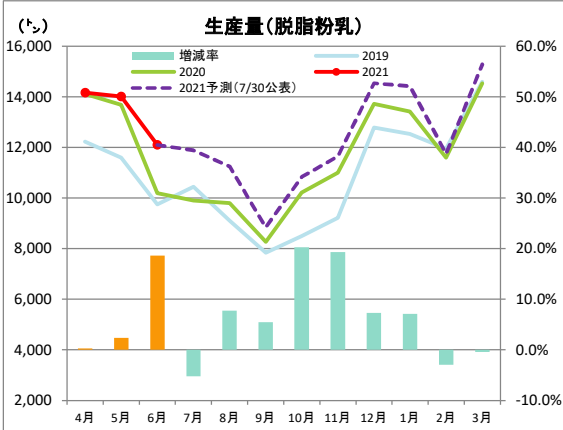
【都府県の生乳需給】

(1)6月は、生乳供給量278千トン(前年同月比102.1%)、牛乳等向304千トン(同99.4%)。  
 (2)北海道からの移入量について、47千トン(同88.1%)と前年大きく下回った。



**【脱脂粉乳・バター需給】**

(1)脱脂粉乳は、6月の生産量は12.1千トン(前年同月比118.6%)、推定出回り量は10.6千トン(同107.6%)、その結果、在庫量は90.3千トン(同104.2%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を上回って推移している。  
 (2)バターは、6月の生産量は5.7千トン(同104.5%)、推定出回り量は6.4千トン(同121.8%)、その結果、在庫量は42.2千トン(同109.4%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を大きく上回って推移している。



**【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】** ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

**(1)7月の動向(表①参照)**

・販売個数は、牛乳:前年同月比99.8%、成分調整牛乳:同98.0%、加工乳:同96.6%、乳飲料:同90.9%。  
牛乳類では同98.2%

**【参考】2019年度比…牛乳:105.9%、成分調整牛乳:92.2%、加工乳:89.8%、乳飲料:92.0%(牛乳類トータル:102.2%)**

・販売単価は、牛乳:189.8円、成分調整牛乳:173.6円、加工乳:187.8円、乳飲料:150.7円。

**(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)**

・直近(8/9週)の販売個数は、牛乳:前年同期比93.9%、成分調整牛乳:同96.5%、加工乳:同93.9%、乳飲料:同86.7%。  
牛乳類トータルでは同93.0%

**【参考】2019年度比…牛乳:101.4%、成分調整牛乳:92.7%、加工乳:90.6%、乳飲料:89.4%(牛乳類トータル:98.6%)**

・販売単価は、牛乳:190.7円、成分調整牛乳:173.7円、加工乳:190.9円、乳飲料:151.2円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

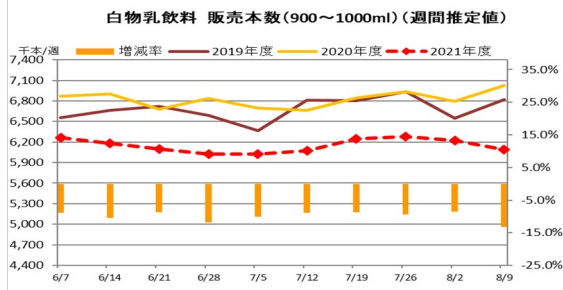
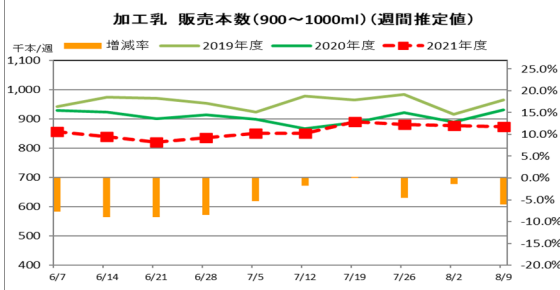
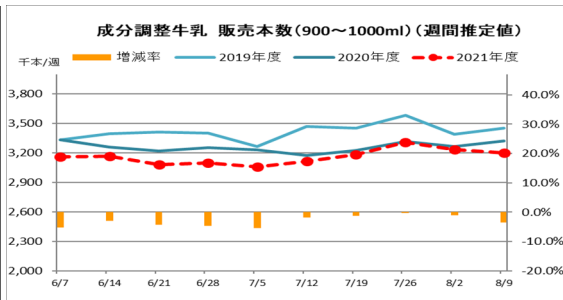
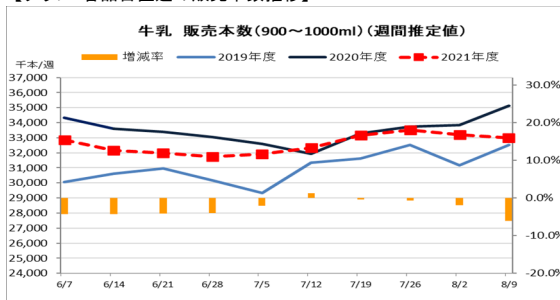
**【表① 牛乳類の月別販売動向】**

単位:千個、円

品目	区分	2021/2-	2021/3-	2021/4-	2021/5-	2021/6-	2021/7-
		販売個数	157,626	172,484	170,770	185,127	181,385
トータル	販売個数前年比	98.8	96.1	89.1	88.7	94.0	98.2
	販売単価	182.0	182.2	182.6	182.5	182.3	183.0
牛乳	販売個数	119,005	130,908	129,581	141,090	138,006	143,919
	販売個数前年比	100.3	97.4	90.0	89.7	94.9	99.8
成分調整牛乳	販売個数	12,064	13,166	13,022	13,826	13,413	13,921
	販売個数前年比	96.0	93.7	87.1	87.7	94.8	98.0
加工乳	販売個数	3,045	3,393	3,387	3,668	3,599	3,804
	販売個数前年比	93.0	94.9	90.1	86.8	90.7	96.6
乳飲料	販売個数	23,512	25,018	24,780	26,543	26,367	27,090
	販売個数前年比	94.3	90.8	85.2	84.7	89.8	90.9
	販売単価	150.3	150.5	151.0	150.8	150.1	150.7

**【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】**

品目	区分	6.21-	6.28-	7.5-	7.12-	7.19-	7.26-	8.2-	8.9-
		販売個数	41,996	41,699	41,859	42,378	43,494	43,973	43,525
トータル	販売個数前年比	95.0	94.7	96.4	99.4	98.3	97.9	97.2	93.0
	販売単価	182.4	182.4	182.7	182.9	183.2	183.2	183.6	183.9
牛乳	販売個数	31,993	31,737	31,926	32,341	33,168	33,506	33,195	32,981
	販売個数前年比	95.8	96.0	97.9	101.3	99.7	99.3	98.1	93.9
成分調整牛乳	販売個数	3,080	3,101	3,056	3,113	3,185	3,308	3,233	3,202
	販売個数前年比	95.7	95.4	94.6	98.1	98.7	99.7	99.0	96.5
加工乳	販売個数	820	836	850	851	890	880	877	873
	販売個数前年比	91.0	91.5	94.6	98.2	100.2	95.5	98.7	93.9
乳飲料	販売個数	6,102	6,025	6,028	6,073	6,251	6,278	6,220	6,091
	販売個数前年比	91.3	88.1	90.0	91.2	91.3	90.5	91.5	86.7
	販売単価	150.0	150.3	150.6	150.4	150.9	150.7	150.9	151.2

**【グラフ 各品目直近の販売本数推移】**


## 【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(8/9週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目で前週(8/2週)より販売個数が減少した。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	6.21-	6.28-	7.5-	7.12-	7.19-	7.26-	8.2-	8.9-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
大容量タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

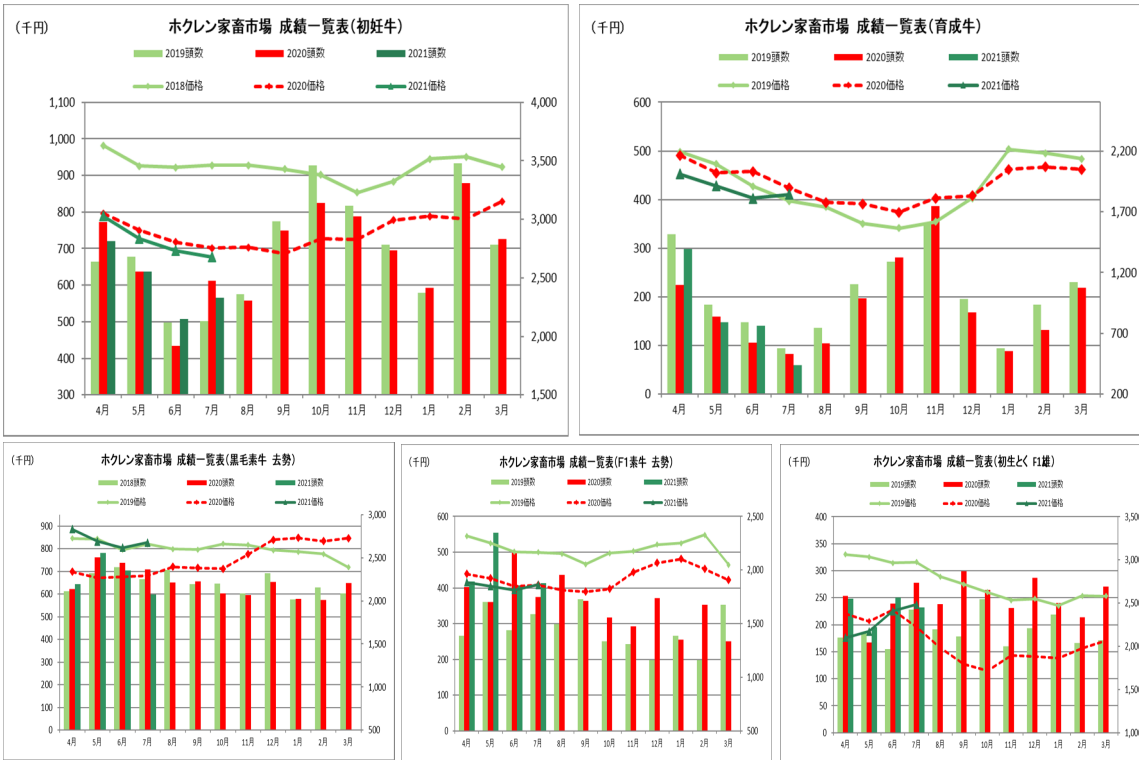
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



【家畜販売価格動向】

(1)7月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は677千円(前年同期比96.6%)、育成牛価格は411千円(同96.9%)、和牛素牛(去勢)価格は828千円(121.4%)、F1素牛(去勢)価格は409千円(同100.2%)、F1初生(雄)価格は237千円(121.2%)。  
 (2)上場頭数(出荷り頭数)は、初妊牛:同94.1%、育成牛:同82.8%。また、和牛素牛(去勢):同87.7%、F1初生(雄):同89.6%は前年を下回ったが、F1素牛(去勢):同107.1%と前年を上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【その他 気温推移】

向こう3か月間(8~10月)の天気予報によると、平均気温については、東日本・西日本ともに平年より高い確率が40%となっている。

※日本気象協会「向こう3か月間予報」

※下記図は、気象庁「前3か月の気温経過」

